

地域限定型 規制のサンドボックス制度とは

- 自動車の自動運転、無人航空機（ドローン）、これらに関連する電波利用などの、高度で革新的な近未来技術に関連する過去に類例のない実証実験を、特区内に地域限定型のサンドボックスを設け、より迅速・円滑に実現できるようにする。
- 監視・評価体制を設けて事後チェックを強化し、その代わりに、事前規制は最小化する。

内閣総理大臣（諮問会議）

↓ 認定（各法の許可等があったものとみなす等）

区 域 会 議

- 国・自治体・事業者が一体となって 区域計画（サンドボックス実施計画）を作成
- 区域計画が認定された場合、次の特例措置を受ける

・自動運転（道路運送車両法・道路交通法の特例）
保安基準の一部を適用しないものとする・道路使用許可があったものとみなす

・無人航空機（ドローン）に係る特例（航空法の特例）
飛行空域の許可・飛行方法の承認があったものとみなす

・電波利用に係る特例（電波法の特例）
実験等無線局として無線局の免許を速やかに与える

区域計画に基づき
実証事業実施

実施
事業
者

意見 ↑

技術実証評価委員会

第三者委員会として実証事業の評価・監視

区域計画への同意 ↑

関係省庁等

報告・立入検査・停止命令等

従来どおり、
既存法令に基づき安全確保

地域限定型 規制のサンドボックス制度による 自動車の自動運転や無人航空機（ドローン）等の迅速・円滑な実証実験 （国家戦略特別区域法第25条の2から6）

規制改革の内容

特例措置前

- ・自動車の自動運転、無人航空機（ドローン）、これらに関連する電波利用などの実証実験を行うには、関係省庁等の許可等を個別に受ける必要
- ・先進的になればなるほど、実証実験までに関係者との相当の調整が必要

特例措置

- ・国・自治体・事業者の三者が一体となって、代替的な安全確保措置等も含めた実験内容の「区域計画」を作成し、**認定**を受ける
- ・一括して各法の許可等があったものとみなすことなどとする

効果

- ・手続きの一体化、柔軟化
 - ・地域理解の促進
- 安全を確保しつつ、より迅速・円滑に先端的な実証を実施**

規制改革の概要

実証実験までの流れ

要望

近未来技術実証
〔自動車の自動運転、無人航空機、これらに関連する電波利用〕

特例措置

- ・関連4法の特例
- ・道路運送車両法
- ・道路交通法
- ・航空法
- ・電波法

区域計画策定

区域計画の認定により、一括して各法の許可等があったものとみなす等

・**区域会議等を活用し迅速な合意形成**

特区事業の実現

- ・技術実証評価委員会の評価・監視
- ・従来どおり、既存法令にも基づき安全確保



自動運転の場合 (道路運送車両法及び道路交通法の特例)

活用する規制改革

現状

- ・先端的な自動走行車両の中には保安基準の一部に適合しないものもある。また、地域の理解や道路使用許可も当然必要。
- ・地域の理解等の調整に相当の時間。

改正後

○国・自治体・事業者の三者が一体となって、これまでと同等の安全が確保されるよう安全確保措置も含めた実験内容の「区域計画」を作成し、総理が**認定**。

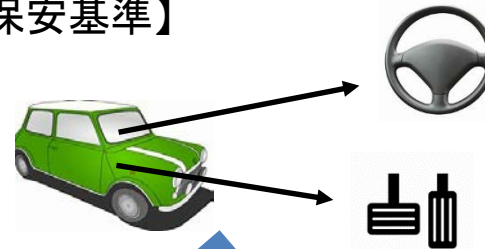
- ⇒
- ・保安基準の一部を適用しないものとする
 - ・道路使用許可を受けたものとみなす

効果

- ・手続きの一体化、柔軟化
 - ・地域理解の促進
- ⇒安全を確保しつつ、より迅速・円滑に先端的な実証を実施

想定される具体的事業

【保安基準】



遠隔型の自動走行車には、ハンドルやアクセルペダル・ブレーキペダルが存在しない。

車両自身も新たな形へ



【道路使用許可】



無人航空機（ドローン）の場合 （航空法の特例）

活用する規制改革

現状

- ・人口集中地区等での飛行や、夜間、目視外等での飛行は、先進的な実験であるほど、許可、承認が複雑に。
- ・加えて、広範な地元関係者等との合意形成に時間が必要。

改正後

- 国・自治体・事業者の三者が一体となって、これまでと同等の安全が確保されるよう安全確保措置も含めた実験内容の「区域計画」を作成し、総理が**認定**。
- ⇒飛行の許可、承認を受けたものとみなす

効果

- ・手続きの迅速化、一層の柔軟化
 - ・地域理解の促進
- ⇒安全を確保しつつ、より迅速・円滑に先進的な実証を実施

想定される具体的事業

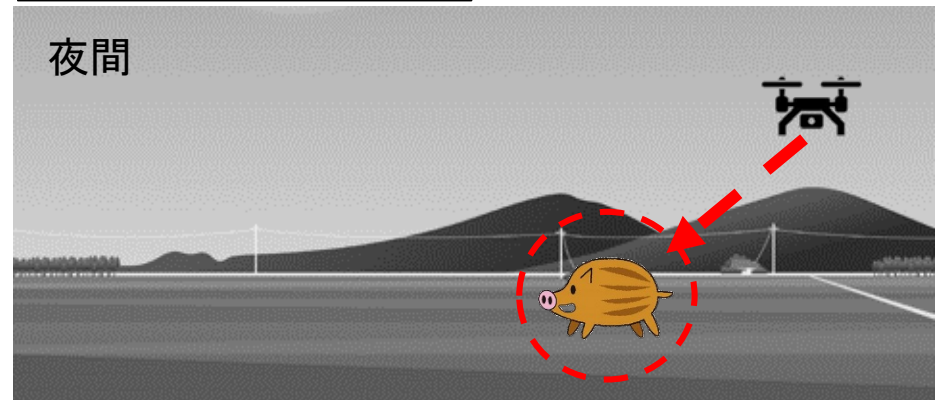
【飛行の許可】人口集中地区の上空の飛行

宅配の実証実験



【飛行の承認】夜間・目視外における飛行の承認

有害鳥獣監視の実証実験



自動運転や無人航空機に関連する電波利用の場合 (電波法の特例)

活用する規制改革

現状

- ・周波数がひっ迫している周波数帯での先端的な実証は、広範な電波利用者との混信検討が必要。
- ・混信対策も含め、実施区域の電波利用者の理解も重要に。



改正後

- 総務大臣が必要な混信検討を行うとともに、安全確保措置も含めた実験内容の「区域計画」を作成し、総理が**認定**。
- ⇒実験等無線局の免許を速やかに与えるとともに、関係する無線局の免許人や地方公共団体等に実証の内容等を通知



効果

- ・手続きの一体化、柔軟化
- ・地域理解の促進
- ⇒安全を確保しつつ、より迅速・円滑に先端的な実証を実施

想定される具体的事業

【5Gを利用した遠隔型自動運転の実施】

- 遠隔型自動運転車両の操作



【5Gを利用した無人航空機による映像配信】

- 農業(作物の生育モニタリング)



【無人航空機等へのワイヤレス給電】



※5G(第5世代移動通信システム)・・・超高速、超大容量、超低遅延の特徴があり、リアルタイムでの遠隔操作、高画質画像の送信等可能